

令和6年度取組結果及び令和7年度取組予定

雄物川水系

・秋田市	1
・横手市	6
・湯沢市	10
・大仙市	14
・仙北市	18
・美郷町	21
・羽後町	23
・東成瀬村	25
・東北農政局	27
・東北運輸局	29
・秋田地方气象台	31
・東日本旅客鉄道(株)	36
・東北電力(株)	38
・秋田県	40
・東北地方整備局	53

馬場目川水系	59
--------	----

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

- ・普通河川古川流域において、排水機場整備等を実施
（令和7年度完成予定）
- ・国土交通省が行うワンコイン浸水センサ実証実験へ参加し、R5年7月豪雨で被害を受けた地区など20ヶ所にセンサを設置
（道路の通行止めや仮設ポンプの設置判断等に活用）
- ・内水氾濫対策の取り組み
 - ⇒秋田駅西（中通・南通・楯山）地区における雨水管線の整備に向けた設計を実施
 - ⇒河川高水時に強制的に雨水を排除する排水ポンプ施設の増設および新設に着手
 - ⇒河川から雨水管への逆流を防止するフラップゲートの整備を実施
 - ⇒広面地区における雨水の流出を抑制する雨水貯留浸透施設の計画策定に着手



古川排水機場 整備状況

ワンコイン浸水センサ
設置状況

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒町内会等からの依頼による防災訓練
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒市内小中学校からの依頼による防災講話
- ・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒要配慮利用施設への避難確保計画の作成支援



市内中学校における防災講話

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒町内会、自主防災組織等に対しマイタイムライン作成の周知・啓発
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シュミレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒内水浸水想定区域図（仁井田、御野場、大住、牛島地区の一部・中通、南通、檜山、千秋地区の一部・手形、東通）を秋田市ホームページで公表
- ・適切な土地利用の促進
⇒災害危険区域の指定（雄和地区の一部：R4.9.1指定）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒防災FMラジオを自主防災組織等へ貸与
⇒秋田市の防災情報をFM秋田「秋田市防災Navi」により放送
⇒防災ネットあきたによる災害情報の提供（電話、FAXでも提供）
⇒ホームページ、ツイッターで災害情報の提供
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまろごとまちごとハザードマップの推進
⇒想定最大規模の浸水想定による水害ハザードマップおよび水害対策ガイドブックを用いた地域での防災講話の実施



内水浸水想定区域図

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連携体制の再確認の実施

⇒水防訓練（R6.6.2）

⇒災害対策用排水ポンプ車による排水訓練

（R6.6.26、R6.6.28、R6.11.19、R6.11.28）

- ・重要水防箇所の合同巡視

⇒雄物川合同巡視（R6.5.24）

- ・水防資機材の保有状況の確認

⇒適切に在庫管理



災害対策用排水ポンプ車による排水訓練

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易水位計等の基盤整備

- ・古川流域の排水機場の整備（継続3年目）
- ・内水氾濫対策の取り組み
 - ⇒秋田駅西（中通・南通・楡山）地区の雨水管線の整備に向けた設計を継続実施
 - ⇒河川高水時に強制的に雨水を排除する排水ポンプ施設の増設・新設を継続実施
 - ⇒河川から雨水管への逆流を防止するフラップゲートの整備を継続実施
 - ⇒広面地区における雨水の流出を抑制する雨水貯留浸透施設整備に向けた設計を実施



■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施・タイムラインの検証及び改訂・他機関連携型タイムラインの拡充
 - ⇒ 各種防災訓練の実施
- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ 町内会・自主防災組織等の避難訓練の実施、自主防災リーダー研修会の実施
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇒ 学校関係者を対象にした防災教育の実施
- ・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒ 要配慮利用施設への避難確保計画の作成支援

マイタイムライン作成の啓発



自主防災リーダー研修会

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒マイタイムラインの自主防災組織等への周知・啓発
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒内水浸水想定区域図の追加公表
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ラジオ等による秋田市防災情報の継続的な発信
⇒防災ネットあきたへの登録推進
- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまちごとまちごとハザードマップの推進
⇒想定最大規模の浸水想定による水害ハザードマップおよび水害対策ガイドブックを用いた地域での防災講話の実施



水防訓練

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連携体制の再確認の実施
⇒水防訓練
⇒災害対策用排水ポンプ車による排水訓練
- ・重要水防箇所での合同巡視
⇒関係機関等とのパトロールの実施
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒必要資材の拡充



国・市の排水ポンプ車による排水活動

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 横手市業務継続計画（BCP）の改定と運用(継続)

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導}

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・各種訓練・講習会の実施

⇒ 6月2日（日）「土砂災害防災訓練」を実施（山内大松川地区）

◇ 地域住民、地元消防団など72名が参加

秋田県、警察、消防が連携

⇒ 8月25日（日）「総合防災訓練」を実施（大雄地区）

◇ 地域住民、要配慮者利用施設、社会福祉協議会、地元消防団、

火災予防組合、災害協定締結事業所等から約180人が参加し、

避難訓練、避難所開設訓練およびボランティアセンター設置訓練を実施

⇒ 12月10日（火）高等学校での避難所開設訓練を実施

◇ 高校生が主体となり、学校体育館を避難所として開設する訓練を実施

地元住民も避難者として参加

⇒ 防災講話の開催（49回：前年比1.8倍、1,374人参加）※R6.12月末時点

◇ 近年の災害発生により、地域住民からの要望も増加傾向



土砂災害防災訓練(6/2)



高等学校での避難所開設訓練(12/10)



防災講話(中学校での防災勉強会)

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す**情報伝達手段の多重化**（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災行政無線、防災ラジオ、よこて安全・安心メール、エリアメール、市ホームページ
横手市公式SNS（LINE・X・Facebook）よこてれび（デジタルサイネージ）の活用

⇒**情報発信システムの刷新（新規）**

◇よこて安全・安心メールを送信するシステムを変更、

市公式SNS（X、Facebook、LINE）への自動連携機能により、迅速な情報発信を行う

⇒**避難所受付システムの導入（シームレス避難所システム）（新規）**

◇マイナンバーカードや運転免許証を利用し、迅速な避難所受付および情報共有

住宅地図上に要配慮者や避難状況を可視化させることで、適切な避難誘導の実施



シームレス避難所受付端末、カード読取カメラ

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・**重要水防箇所の合同巡視**の実施

⇒5月28日（火）湯沢河川国道事務所、平鹿地域振興局、
横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

⇒6月1日（土）**「水防講習会」**を実施（分散開催）

◇感染症対策に配慮し、8支団が3カ所の消防署、各消防分署に分散し、
基本結索、土嚢作成、改良積土嚢工法、応急シート張り工法を実施



水防講習会(6/1)

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 横手市業務継続計画（BCP）の改定と運用(継続)

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い地域における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒ 土砂災害防災訓練を実施（継続）

◇市、県、警察、消防、消防団が連携し、大雨に伴う土砂災害を想定し、
対象地域住民の避難行動を含む実践的な総合訓練を実施

⇒ 横手市総合防災訓練【夏季・冬季】を実施（継続）

◇関係機関、災害時応援協定締結事業所との連携を予定

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒ 市内小中学校における防災講話の実施（継続）

自然災害伝承碑等を活用し地域の災害リスクを周知（継続）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 避難確保計画のバージョンアップと避難訓練の実施促進(継続)

◇チェックリストによる計画の見直しと避難訓練実施の促進

雄物川浸水エリア 計画作成:38施設（100%）、訓練実施:26施設（68%）

横手川浸水エリア 計画作成:65施設（100%）、訓練実施:25施設（38%）

※R6.12月末時点



自然災害伝承碑



要配慮者利用施設における洪水時避難訓練

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ ウェブサイトを活用したハザードマップの周知（継続）

◇携帯端末の位置情報から現在地の災害危険個所の確認可能

◇避難所開設情報や通行止め情報をリアルタイムで掲載可能

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 雄物川総合水防演習への参加

⇒ 横手市消防団各支団単位での水防体制の確認

◇基本結索、土嚢作成、改良積土嚢工法、応急シート張り工法

・重要水防箇所合同巡視（継続）

⇒ 国管理河川：湯沢河川国道事務所、横手市、横手市消防本部、各消防支団参加

⇒ 県管理河川：平鹿地域振興局、横手市、横手市消防本部参加



重要水防箇所の合同巡視

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 湯沢市業務継続計画（BCP）の見直し・修正を令和6年6月に実施

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒重点事業として継続して推進

⇒県主催による「自主防災組織育成指導者研修会」を湯沢市で開催

⇒自主防災組織の設立に向けた町内会等との意見交換会を実施

・地域の防災力向上に向けた施策の実施

⇒湯沢市防災士の会における研修会の開催等による地域防災リーダーの育成

⇒地区防災計画の策定支援

※自主防災組織を設立した町内に対する地区防災計画の策定に向けた講座を開催

・リアリティのある防災訓練の実施

⇒雄物川危機管理演習への参加（令和6年10月23日実施）

⇒大規模災害を想定した図上訓練の実施（令和7年2月4日実施予定）

⇒湯沢市雄勝郡総合防災訓練への参加（令和6年10月7日実施）

※防災関係機関（市・消防・警察・自衛隊・東北電力・NTT等）及び要配慮者利用施設、住民、小・中学生参加による実践的な訓練を実施

・水害リスクの高い区間における避難訓練の実施

⇒湯沢地域（岡田町）において湯沢市水害避難訓練の実施（令和6年5月28日実施）

・水害リスクを共有するための防災教育の実施

⇒水害リスクの高い地域への出前講座を実施

・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の促進

⇒避難確保計画の実効性をより高めるための計画修正等の支援を継続して実施



自主防災組織育成指導者研修会
 （秋田地方気象台主催による気象防災ワークショップ）



湯沢市水害避難訓練
 （消防署・湯沢市防災士の会による
 積み土のう、簡易水防工法の指導）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目したタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒出前講座や学校授業等の場を活用した、マイ・タイムライン作成講習の開催
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の整備
⇒防災行政無線の効果的な運用
⇒自主防災組織の代表宅に対する防災行政無線戸別受信機の設置（継続）
⇒秋田朝日放送のデータ放送を利用した「湯沢市テレビ回覧版」による各種情報発信（令和4年12月1日運用開始）
⇒緊急・防災メール、防災行政無線専用LINEの登録促進、SNS等による情報発信の充実
- ・想定最大規模の洪水における避難計画を考慮した防災マップの周知・活用
⇒湯沢市地区版防災マップの周知徹底・防災講座等を通じた教育の実施



マイ・タイムラインについての出前講座
(高松地域)



地域住民、小中学校・
が一体となった合同
避難訓練
(山田小・中学校)

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・関係機関が連携した水防訓練・水防団相互の連絡体制の再確認の実施
⇒令和6年6月2日(日) 湯沢雄勝地区水防講習会を実施
※積み土のう工法・ロープワーク・安全管理講習を実施
⇒全水防団員（消防団員）へ装備品として「救命胴衣」を購入
(R4~R7継続実施)
- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒令和6年5月22日(水) 重要水防箇所合同巡視
⇒令和6年6月20日(木) 雄勝地域県管理河川重要水防箇所合同巡視



「湯沢市テレビ回覧版」による各種情報発信

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒湯沢市業務継続計画（BCP）の運用

要配慮者施設
での避難訓練

令和6年度湯沢市土砂災害避難訓練



■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・自主防災組織の設置、指導及び育成に係る研修会の実施

⇒重点事業として継続して推進

・地域の防災力向上に向けた施策の実施

⇒湯沢市防災士の会における研修会の実施（地域の防災訓練への参加等実践型の研修を実施予定）

⇒地区防災計画の策定推進

⇒防災士の会を活用した自主防災組織の訓練支援

・リアリティのある防災訓練の実施

⇒土砂災害訓練の実施（6月実施予定）

⇒湯沢市雄勝郡総合防災訓練の実施（10月頃実施予定）

・水害リスクの高い区間における避難訓練の実施

⇒湯沢市水害避難訓練の実施（5月頃実施予定）

・水害リスクを共有するための防災教育の実施

⇒出前講座等による防災講話を継続して実施

・要配慮者利用施設の避難計画に基づく訓練の促進

⇒他部局と連携し、避難確保計画・避難訓練の実効性をより高めるための支援を継続実施

イベントでの防災用品の展示
（パーティションテント、ダンボールベット）



湯沢市雄勝郡総合防災訓練での活動



■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒可搬式排水ポンプ制御盤設置工事及び国の乗越管を占用した内水排水作業により初動対応を早めるとともに、内水排水作業による通行止めを防止し、避難経路の確保を図る。

実施箇所：西仙北地域・大沢川樋門、強首輪中堤
 協和地域・小平沢樋門

⇒本市2台目となる排水ポンプ車（60トン/分）の購入（令和7年3月末納車）

⇒マスプロダクツ型排水ポンプ設備の実証試験（令和10年3月末まで）



協和・小平沢排水樋門



西仙北・大沢川樋門



大曲・マスプロダクツ型排水ポンプによる排水作業

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・他機関連携型タイムラインの充実

⇒避難指示等の発令に着目した「タイムライン検討会」や、雄物川の大規模氾濫を想定した

図上演習「雄物川危機管理演習」を実施（令和6年10月23日）

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒自主防災組織育成指導者研修会及び大仙市防災士研修会の実施（令和6年12月18日）

⇒自主防災組織等の避難訓練の実施支援（16団体）

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒防災講話や避難所開設訓練の実施支援（大曲中学校、大曲工業高校）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒新規開設施設への避難確保計画作成と避難訓練の実施を促進（136/136施設で計画策定済）



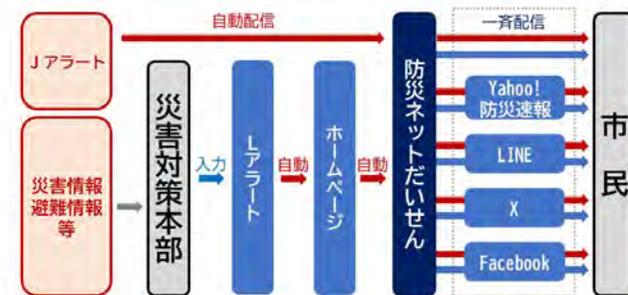
雄物川危機管理演習

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒ 自主防災組織へ「地区防災マップ・マイタイムライン」の作成支援
(平成30年～令和7年1月末まで 54組織作成)
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒ Lアラートからのメールのリレーにより、ホームページや防災メール、スマホアプリ、SNSから避難情報等を一斉配信する機能の導入
⇒ Jアラート自動起動装置の更新（防災メール、防災ラジオとの連携）（R7年3月末完成）
⇒ WEB版ハザードマップを活用した情報提供（水位、通行止め等）（継続）



避難情報等の一斉配信



排水ポンプ車配置・操作訓練

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所の合同巡視
⇒ 国との重要水防箇所の合同巡視（令和6年5月21日）
⇒ 県との重要水防箇所の合同巡視（令和6年6月13日）
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒ 水防講習会の実施（令和6年6月2日）
(土のう作成、積土のう、シート張、月の輪、釜段)

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒ 国・県・市の3機関合同による排水ポンプ車配置・操作訓練（令和6年5月23日）
⇒ 令和7年度雄物川総合水防演習に向けた実行委員会及び水防工法講習会の開催（令和6年10月16日、令和6年11月10日）



雄物川総合水防演習 実行委員会 水防工法講習会



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒国の乗越管を占用し内水排水作業の初動対応を早めるとともに、内水排水作業による通行止めを防止し、避難経路の確保を図る。

実施箇所：神岡地域・後川樋門

協和地域・沼館川樋門、小平沢樋門

南外地域・西板戸樋門

⇒本市2台目となる排水ポンプ車（60トン/分）の運用（令和7年3月末納車）

⇒マスプロダクツ型排水ポンプ設備の実証試験（令和10年3月末まで）



神岡・後川樋門



南外地域・西板戸樋門



協和・沼館川樋門



協和・小平沢樋門

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・他機関連携型タイムラインの充実

⇒国交省と連携した「洪水対応演習」の実施（継続）

・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒自主防災組織育成指導者研修会及び大仙市防災士研修会の実施（継続）

⇒自主防災組織等の避難訓練の実施支援（継続）

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒中学校等における防災講話や避難所開設訓練の実施支援（継続）

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒新規開設施設への避難確保計画作成と避難訓練の実施を促進（継続）



自主防災組織育成指導者研修会



防災講話

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用及びマイタイムラインの作成
⇒自主防災組織へ「地区防災マップ・マイタイムライン」の作成支援（継続）
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
⇒防災メールや防災ラジオ、SNS等を活用した情報伝達手段の多重化・一斉配信（継続）
⇒WEB版ハザードマップを活用した情報提供（水位、通行止め等）（継続）
⇒雄物川の大規模氾濫を想定した「広域避難体制」の確立に向けた検討会の実施
⇒国土交通省リエゾン、気象庁JETTなどの外部人材の活用や、
気象防災アドバイザーの配置による適時適切な避難情報の発令



広域避難（イメージ）

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・重要水防箇所への合同巡視
⇒国・県との重要水防箇所の合同巡視（継続）
- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒水防講習会の実施（水防工法）（継続）

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施
⇒国・県・市の3機関合同による排水ポンプ車配置・操作訓練（継続）
⇒水防技術の向上や連携強化を図る「雄物川総合水防演習」の実施（令和7年5月25日）
⇒災害対応能力や防災意識の向上を図る「大仙市総合防災訓練」を神岡地域で実施（令和7年10月頃）



リエゾンとの連携行動の確認（R6雄物川危機管理演習）



R6 総合水防演習（青森県）

R1 大仙市総合防災訓練（西仙北）

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○水防講習会の実施

- ⇒ 土嚢積みやロープワークの講習会を開催、水害から市民を守るための取り組みを行った。

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・ 水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
 - ⇒ 自主防災組織と連携し訓練や啓発活動を実施した。
- ・ 要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進
 - ⇒ 避難訓練を毎年実施するよう周知する。
- ・ 社会福祉協議会との連携
 - ⇒ 社会福祉協議会と連携し、避難所開設訓練を実施した。
- ・ 防災研修会の実施
 - ⇒ 災害の教訓を風化させないよう防災知識の普及・啓発を図ることを目的とし、食生活改善協議会や民生児童委員会の会議開催に合わせて防災研修会を実施した。

水防講習会の様子



土嚢積み(上)とロープワーク(下)の様子



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線やメール、LINEによる防災情報配信を継続実施。

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に保有状況を確認した。

仙北市総合防災訓練で実施した自主防災組織の避難訓練（令和6年10月4日）



民生児童委員会での防災研修会
（講師 仙北市総合防災課）



仙北市総合防災訓練で実施した社会福祉協議会と連携した避難所開設訓練（令和6年10月4日）



■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

【参考：氾濫をできるだけ防ぐ、減らすための対策】

⇒水防団や自主防災組織を対象として水防講習会等を実施し、災害に備える。

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施
⇒ **自主防災組織と連携し訓練を実施する。**
- ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒ **市内の小中学校で訓練など、防災教育を実施する。（7～9月実施予定）**
- ・社会福祉協議会等との連携
⇒ **災害時における介護事業所や社会福祉協議会と市役所の情報共有方法を
打ち合わせする。**
- ・防災情報伝達
⇒ **防災無線に変わる公衆網を活用した新防災情報伝達システムの新規導入。**

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・水防資機材の保有状況の確認
⇒ **出水期前に資機材を確認する。**

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクの高い区間における関係機関との共同点検の実施

⇒仙北地域振興局建設部と危険個所の共同点検を実施

・教育機関と連携した防災教育の実施

⇒町内小中学校の避難訓練に併せて防災教育を実施（小中学校3校で実施）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災ラジオ、防災メール、LINEの運用

■ソフト対策【ねばる】②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒大曲仙北広域市町村圏組合消防本部と連携し、水防訓練講習を実施

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認

危険個所共同点検



防災教育



水防訓練講習



■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒美郷町業務継続計画（BCP）を運用中

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒町内の小中学校で防災教育を実施

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒防災無線、防災メール、LINEの運用

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒流域内の関係機関と連携し、雄物川総合水防演習を実施

⇒大曲仙北広域市町村圏組合消防本部と連携し、水防訓練を実施

・水防資機材の保有状況の確認

⇒出水期前に水防倉庫及び各消防ポンプ庫の水防資機材の保有数を確認

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画（BCP）の運用およびこれに基づく施設点検・保守

■ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充

⇒ 緊急告知FMラジオによる避難情報の発令・約7割の世帯へ配布完了

⇒ 危機管理水位計の実証実験【CNA】

⇒ 市郡総合防災訓練の開催

緊急告知FMラジオ



■ソフト対策 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練、水防体制の再確認の実施

⇒ 6月2日 湯沢市・東成瀬村との合同水防講習会を実施

・重要水防箇所との合同巡視

⇒ 5月22日 直轄河川の重要水防箇所合同点検に参加

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 継続実施

■ハード対策 （避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策

⇒ 羽後町業務継続計画（BCP）の運用およびこれに基づく施設点検・保守

■ソフト対策 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充

⇒ 緊急告知FMラジオを主とした緊急情報伝達手段の多重化を推進

⇒ 登録制メール・防災LINE認知度向上による登録者の確保

⇒ 危機管理水位計の運用開始

■ソフト対策 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練、水防体制の再確認の実施

⇒ 6月 湯沢市・東成瀬村との合同水防訓練を実施

・重要水防箇所合同巡視

⇒ 6月 直轄河川の重要水防箇所合同点検に参加

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 継続実施

水防訓練



雄物川重要水防箇所の合同点検



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 東成瀬村業務継続計画の運用

■ソフト対策【動かす】

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 該当施設に対し、避難計画の作成と訓練の実施を周知及びBCP作成の推進

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備をR7年度に実施

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施

⇒ 水防訓練の参加（6月2日）

・重要水防箇所合同巡視

⇒ 秋田県・東成瀬分署ほか河川等の合同巡視を実施（6月21日）

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）

⇒ 東成瀬村業務継続計画の運用

■ソフト対策【動かす】

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒ 気象防災ワークショップへの参加

・要配慮者利用施設の避難計画の作成及び訓練の促進

⇒ 該当施設に対し、避難計画の作成と訓練の実施を呼びかける

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）

⇒ 防災行政無線の維持管理、新規格に対応した移動系無線機の整備

■ソフト対策【ねばる】

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・関係機関が連携し、水防訓練や水防活動のPRを行い、水防意識の高揚に繋げる

⇒ 雄物川総合水防演習への参加

・重要水防箇所合同巡視

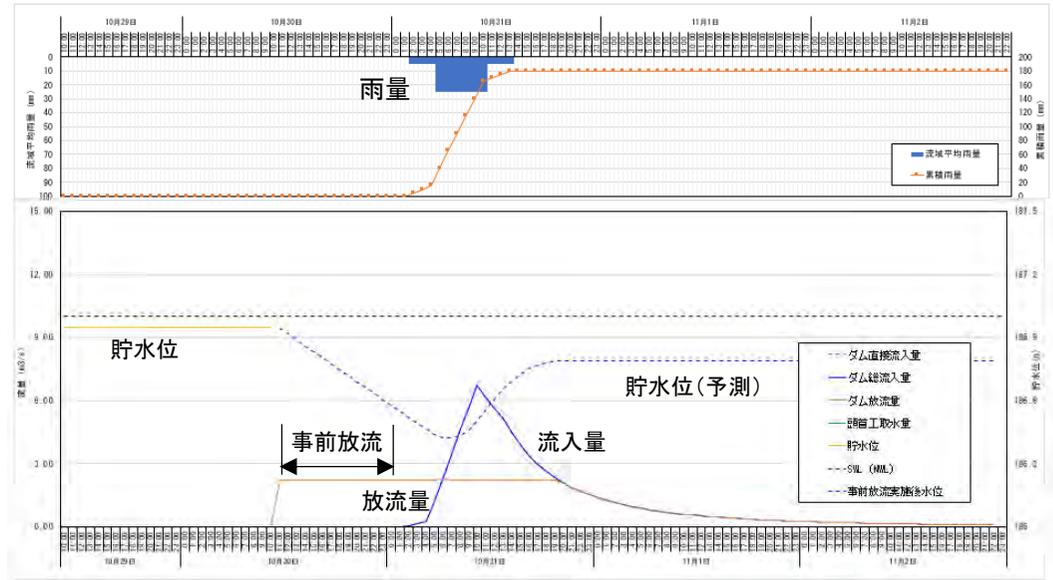
⇒ 秋田県・東成瀬分署ほか河川等の合同巡視を実施

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・ 既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
 - ⇒ 農業用利水ダムの事前放流について、関係機関と気象情報を共有して取組を行った。R6年度は、かんがい期間中からダム貯水に空容量があり、事前放流には至らなかった。
 - ⇒ 「雄物川水系治水協定」に基づく事前放流の機能強化を図るため、R4年度に構築した相野々ダム「簡易流入量予測システム」をダム管理者と共有し、予測降雨日時、予測降雨量を用いて、ダム地点における流入量、貯水位、放流量を予測し事前放流の開始及び中止の判断検討に活用してダム事前放流機能強化の取組を行った。

項目	雨量 (mm)	事前放流量 (mm)	ダム調整後流入量 (mm/c)	第一調整後流入量 (mm/c)	ダム調整後流入量 (mm/c)	念地調整後流入量 (mm/c)	貯水池 (mm)	事前放流調整後の貯水池 (mm)
2020/5/11 16:00	0.0	0.0	1.04	1.09	2.63	2.63	249.45	
2020/5/11 17:00	0.0	0.0	1.93	1.97	2.97	2.97	249.45	
2020/5/11 18:00	0.0	0.0	2.21	1.31	3.52	3.52	249.49	
2020/5/11 19:00	0.0	0.0	1.13	1.25	2.30	2.30	249.49	
2020/5/11 20:00	0.0	0.0	1.17	1.20	2.37	2.37	249.50	
2020/5/11 21:00	0.0	0.0	1.27	1.07	2.30	2.30	249.51	
2020/5/11 22:00	0.0	0.0	1.30	1.09	2.40	2.40	249.52	
2020/5/11 23:00	0.0	0.0	1.45	0.93	2.39	2.39	249.53	
2020/5/12 0:00	0.0	0.0	0.38	0.88	1.25	1.25	249.53	
2020/5/12 1:00	0.0	0.0	0.45	0.78	1.23	1.23	249.53	
2020/5/12 2:00	0.0	0.0	1.05	0.68	2.34	2.34	249.54	
2020/5/12 3:00	0.0	0.0	0.99	0.58	1.77	1.77	249.54	
2020/5/12 4:00	0.0	0.0	0.54	0.54	1.28	1.28	249.54	
2020/5/12 5:00	0.0	0.0	0.78	0.56	1.25	1.25	249.54	
2020/5/12 6:00	0.0	0.0	0.74	0.51	1.25	1.25	249.54	
2020/5/12 7:00	0.0	0.0	0.78	0.47	1.25	1.25	249.54	
2020/5/12 8:00	0.0	0.0	0.81	0.43	1.24	1.24	249.54	
2020/5/12 9:00	0.0	0.0	-0.29	0.47	0.47	0.17	249.53	
2020/5/12 10:00	0.0	0.0	0.87	0.39	1.25	1.25	249.53	
2020/5/12 11:00	0.0	0.0	0.99	0.39	1.28	1.28	249.53	
2020/5/12 12:00	0.0	0.0	-0.24	0.39	0.97	0.14	249.52	
2020/5/12 13:00	0.0	0.0	0.88	0.47	1.34	1.34	249.52	
2020/5/12 14:00	0.0	0.0	-0.35	0.55	0.55	0.19	249.51	
2020/5/12 15:00	0.0	0.0	1.49	0.54	2.39	2.39	249.52	
2020/5/12 16:00	0.0	0.0	0.64	0.68	1.31	1.31	249.53	
2020/5/12 17:00	0.0	0.0	0.54	0.60	0.54	1.09	249.52	
2020/5/12 18:00	0.0	0.0	1.31	0.54	0.54	1.09	249.51	
2020/5/12 19:00	0.0	0.0	0.54	0.54	0.54	1.09	249.50	
2020/5/12 20:00	0.0	0.0	0.65	0.50	0.65	1.09	249.49	
2020/5/12 21:00	1.6	0.0	0.53	0.50	0.53	0.53	249.48	
2020/5/12 22:00	1.6	0.0	0.78	0.50	0.78	1.09	249.45	
2020/5/12 23:00	7.7	0.0	1.61	0.50	1.61	1.61	249.45	
2020/5/13 0:00	7.7	0.0	1.64	0.50	1.64	1.64	249.44	
2020/5/13 1:00	7.7	29.6	2.15	0.50	2.15	1.99	249.44	
2020/5/13 2:00	19.0	0.0	3.95	0.50	3.95	1.99	249.44	
2020/5/13 3:00	19.0	0.0	3.75	0.50	3.75	1.99	249.45	
2020/5/13 4:00	16.7	0.0	4.24	0.50	4.24	1.99	249.45	
2020/5/13 5:00	16.7	76.2	6.85	0.50	6.85	1.99	249.48	
2020/5/13 6:00	16.7	92.8	7.39	0.50	7.39	1.99	249.51	
2020/5/13 7:00	16.7	109.0	10.99	0.50	10.99	1.99	249.52	
2020/5/13 8:00	33.3	142.3	23.19	0.50	23.19	45.34	249.52	
2020/5/13 9:00	33.3	115.2	31.71	0.50	31.71	45.34	249.50	
2020/5/13 10:00	33.3	209.5	34.75	0.50	34.75	39.13	249.48	
2020/5/13 11:00	20.0	219.5	29.84	0.50	29.84	37.24	249.47	



予測雨量日時、予測降雨量等を入力すると放流量等を予測し、ハイドログラフ化

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
 - ⇒ 農業用利水ダムの事前放流及び貯水位運用について、流域関係機関と気象情報を共有し、機能強化・体制強化の取組を継続していく。
 - ⇒ 相野々ダム「簡易流入量予測システム」を用いて、引き続きダム事前放流の開始及び中止の判断検討に活用するとともにダム地点における予測流入量と実測流入量の比較検証を行い、システムの諸係数を見直し調整して精度向上に取り組む。

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒ 東北運輸局HPに、災害・防災情報として「防災ポータル」を、災害時等の鉄道・バス・旅客船等公共交通機関の運行情報として「公共交通機関運行情報」のリンクを配置する。

東北運輸局HPに「防災ポータル」及び「公共交通機関運行情報」のリンクを配置済み



The screenshot shows the website interface with the following elements:

- 災害・防災情報** (Disaster/Disaster Information) menu:
 - 安全・防災・危機管理
 - 防災ポータル(国土交通省HPへ) 
- 公共交通機関運行情報** (Public Transport Operation Information) menu:
 - 公共交通機関運行情報
- 総合案内** (General Information) menu:
 - 総合案内
 - 組織と業務
 - 運輸要覧
 - 採用情報
 - 東北運輸局へのアクセス・バリアフリー情報
 - 支局・事務所のご案内
- 分野別情報** (Information by Category) grid:
 - 観光 (Tourism)
 - 公共交通の維持・活性化 (Maintenance/Activation of Public Transport)
 - 自動車の検査・登録 (Vehicle Inspection/Registration)
 - 鉄道 (Railway)
 - バス・タクシー・トラック (Bus/Taxi/Truck)
 - バリアフリー (Barrier-free)
 - 海運・船舶・船員 (Maritime/Shipping/Seafarers)
 - 環境 (Environment)
 - 物流・倉庫 (Logistics/Warehouse)
- 東北運輸局「基本構想」** (Basic Vision)
- トラックGメン・2024年問題** (Truck G-men 2024 Issue)
- 人材確保・育成サイト** (Human Resource Site)
- うみ☆ふね** (Umi☆Fune) - 海上船舶の情報ポータルサイト 東北版
- 運輸・観光のDX** (DX for Transport and Tourism)
- 東北運輸局 公式** (Official) - X @mlit_tohokuunyu
- 東北運輸局マスコット** (Tohoku Railway Bureau Mascot)

Yellow arrows point to the disaster information and public transport operation information menus, labeled "国土交通省本省へのリンク" and "各鉄道会社等のHPへのリンク" respectively.

○その他の取組

- ・令和6年7月25日からの大雨災害の対応のため、7月31日に「鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する地方連絡調整会議」（東北地方整備局、東北運輸局、鉄道事業者等）を開催し、道路管理者や河川管理者と連携し、被災した鉄道の早期復旧に向けた手続きの円滑化等を確認した。〔実施機関：東北運輸局鉄道部〕

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒ 東北運輸局HPに、災害・防災情報として「防災ポータル」を、災害時等の鉄道・バス・旅客船等 公共交通機関の運行情報として「公共交通機関運行情報」のリンクを継続して配置する。

○その他の取組

・災害により鉄道施設が被災した際の支援等

⇒ 必要に応じて、被災した鉄道施設の現地確認。

⇒ 必要に応じて、鉄道等の災害復旧に係る事業間連携に関する連絡調整会議を開催する。



被災した鉄道施設の確認



鉄道等の災害復旧に係る連絡調整会議の様様

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

【No.1 No.3】

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒秋田県と連携し地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」を開催。

（※秋田県庁や地域振興局等で実施）

土砂災害編・河川洪水災害編について、参加者が防災気象情報の有効活用や体制構築等の判断のポイントを学習して、防災対応力の向上を図れるよう支援した。

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒秋田県教育委員会の「安全教育推進委員会」に参画して、「安全管理指導者研修」や「外部指導者派遣事業」に講師を派遣し、防災教育を実施した。（※19回実施）

秋田県総合防災課との連携で「自主防災組織育成指導者研修会」を実施。（※7市町村で実施）

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒防災気象情報に関しては、出前講座等で機会あるごとに解説を行い利活用促進に努めている。

また、大雨・洪水の注意報、警報基準がより適切な判定結果となるように最新の災害データを基に見直しを行った。

■ ソフト対策【ねばる】 ② 氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

【No2】

○ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・ 流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒ 災害発生時は、後日各市町村防災担当者と対応についての振り返りを行っている。



学校安全外部指導者派遣事業



気象防災ワークショップ

■ソフト対策【動かす】①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導

○平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組

・多機関連携型タイムラインの充実

⇒本年度も各機関で防災訓練等の実施の際は是非参加・協力させて頂きたい。

また、地方公共団体防災担当者向け「気象防災ワークショップ」について引き続きリモート環境での開催を含め検討している。

・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施

⇒本年度も秋田県教育委員会と連携し、「外部指導者派遣事業」についてリモート環境での開催を含め実施予定。

秋田県総合防災課との連携で「自主防災組織育成指導者研修会」を実施予定。

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・気象情報発信時の「危険度の色分け」や「警報級の現象」等の改善（水害時の情報入手のし易さをサポート）

⇒本年度も防災気象情報は機会あるごとに解説を行い利活用促進に努める。

「防災気象情報の体系整理」による気象情報の名称変更を予定している。**令和8年度出水期からの運用開始**を目指して作業を進めている。

■ソフト対策【ねばる】②氾濫被害の防止や軽減、 避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備

⇒県内各市町村を訪問し防災担当者と情報交換を行うと共に、災害発生時は後日防災担当者と対応についての振り返りを行う。

- シンプルでわかりやすい防災気象情報の再構築に向け、防災気象情報全体の体系整理や個々の情報の見直し、受け手側の立場に立った情報への改善などを取りまとめ。

警戒レベル相当情報の体系整理

令和8年度出水期の運用開始を目指す

◎ シンプルでわかりやすい情報体系・名称に整理

- 【洪水】：氾濫による社会的な影響が大きい河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫を対象とし、河川ごとの情報とする。
これ以外の河川の外水氾濫については、内水氾濫と併せて市町村ごとに発表する【大雨浸水】に関する情報とする※1。
- 【土砂災害】：発表基準の考え方を統一し、災害発生の確度に応じて段階的に発表する情報とする。
- 【高潮】：潮位に加えて沿岸に打ち寄せる波の影響を考慮し、災害発生又は切迫までの猶予時間に応じ段階的に発表する情報とする。

重要ポイント

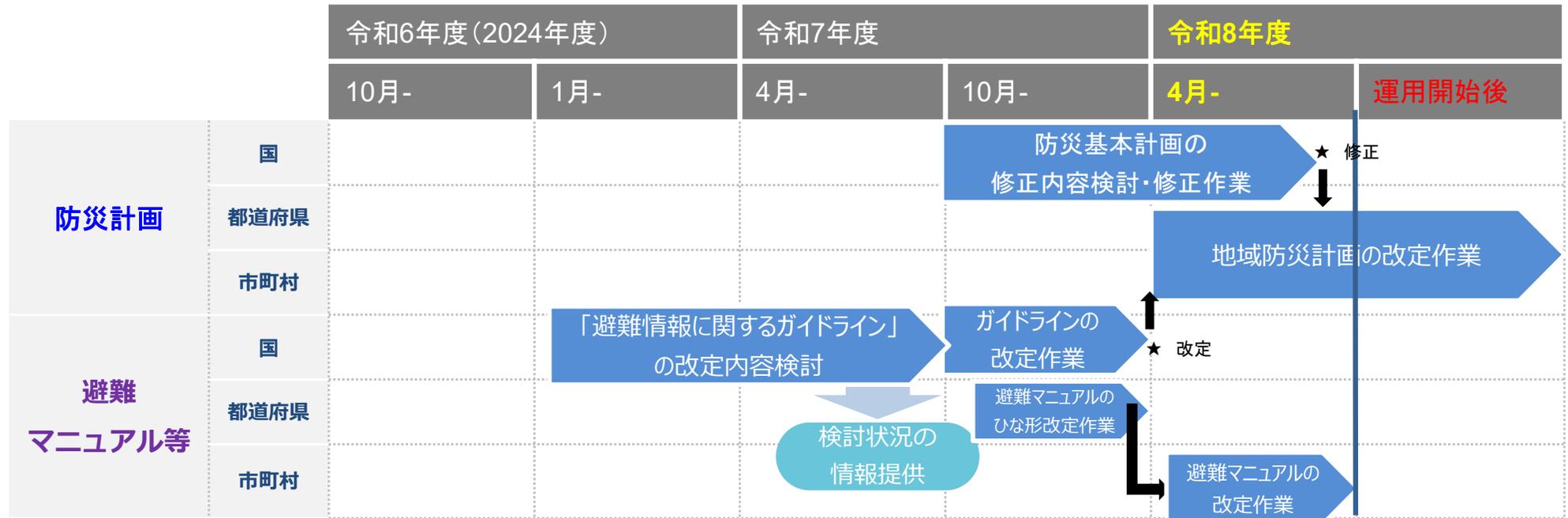
情報名称の冠に**レベル〇**という文字を付して情報発表！

左記情報名称のポイントをシンプルに表現
 →将来的に「警戒レベル」が社会に十分に浸透した際には、以下のようなシンプルな形の名称を検討することも一案。

		洪水	大雨浸水	土砂	高潮
		洪水に関する情報 「洪水危険度」	大雨浸水に関する情報 「大雨危険度」※1	土砂災害に関する情報 「土砂災害危険度」	高潮に関する情報 「高潮危険度」
		氾濫による社会的影響大の河川（洪水予報河川、水位周知河川）の外水氾濫	内水氾濫及び左記以外の河川の外水氾濫		
発表単位		河川ごと	基本的に市町村ごと	基本的に市町村ごと	沿岸ごと又は市町村ごと※2
警戒レベル相当情報※4	5相当	レベル5 氾濫特別警報※3	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報※3
	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
	3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
	2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報

		洪水危険度	大雨危険度	土砂危険度	高潮危険度
警戒レベル相当情報	5相当	洪水レベル5	大雨レベル5	土砂レベル5	高潮レベル5
	4相当	洪水レベル4	大雨レベル4	土砂レベル4	高潮レベル4
	3相当	洪水レベル3	大雨レベル3	土砂レベル3	高潮レベル3
	2	洪水レベル2	大雨レベル2	土砂レベル2	高潮レベル2

今後の想定スケジュール（防災計画等）



※スケジュールは現時点の想定であり、変更する可能性があります

運用開始

国民への周知・広報については、令和7年度出水期後に一斉に実施する予定

(気象庁HP) 防災気象情報に関する検討会

https://www.jma.go.jp/jma/kishou/shingikai/kentoukai/bousaikishoujouhou/bousaikishoujouhou_kentoukai.html

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるとまちごとハザードマップの推進

⇒最新のハザードマップを年に1回確認し、それを基に、関係する現業機関において避難マニュアル確認しているが、見直した箇所はなかった。

⇒災害が発生した際は気象庁や各自治体等の防災情報をホームページ等で入手するとともに、必要に応じて関係する自治体の防災担当から直接入手し、お客さまや社員の安全確保に努めた。その結果、当社施設に該当する自治体に避難指示等が発令された際、社員に対し、当社施設に立ち入らないように指示した。

■ソフト対策【動かす】^{①逃げ遅れゼロに向けた 迅速な情報発信と避難の誘導}

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

- ・想定最大規模の洪水での避難計画を考慮したハザードマップの作成・周知及びまるとまちごとハザードマップの推進
- ⇒最新のハザードマップを年に1回確認し、それを基に、関係する現業機関において避難マニュアルを見直し、修正を図る。【継続】
- ⇒災害が発生した際は気象庁や各自治体等の防災情報をホームページ等で入手するとともに、必要に応じて関係する自治体の防災担当から直接入手して、引き続きお客さまや社員の安全確保に努めていく。【継続】

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報による事前放流の体制を引き続き整備した。**

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備
⇒**プッシュ型洪水予報等の情報による事前放流の体制を引き続き整備する。**

■ ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） 河道掘削 雄物川水系 県管理河川【継続実施】

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。

■ 淀川 大仙市協和地区 河道掘削、伐木



対策後



■ 皆瀬川 湯沢市稲川町地区 河道掘削、伐木



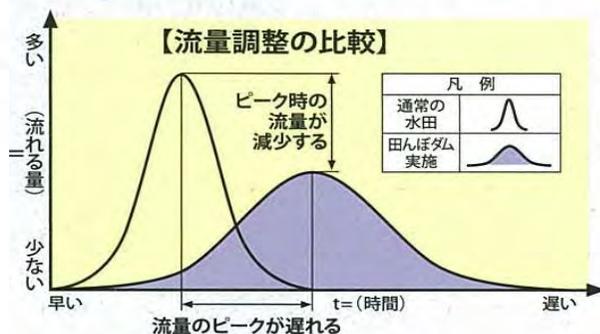
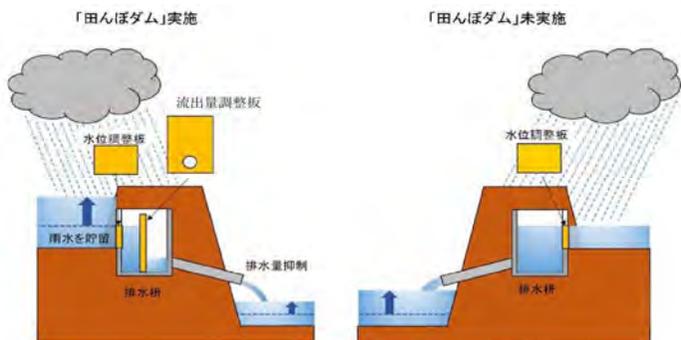
対策後



➤ 水田がもつ水を貯める機能を最大限活用～田んぼダム～

○田んぼダムの仕組みと効果

水田が持つ雨水貯留効果を活用することにより、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水（流出）させることで河川等のピーク流量を抑制し、下流域の洪水被害を低減する効果を見込む。



○雄物川水系における田んぼダム実施状況



内小友西部地区 (大仙市)



四ツ小屋北地区 (秋田市)

■ 取組状況 (継続実施)

取組① 取組に向けた普及・啓発活動



説明会、意見交換会の開催



現地視察対応



模型を活用した説明



農業者向けの現地研修会

取組② 情報発信による周知活動

県のホームページに掲載し、幅広く周知することで田んぼダムへの理解を高める。
【アドレス】 <https://www.pref.akita.lg.jp/pages/genre/page50468>

秋田県田んぼダム技術マニュアル
～ みんなの農地と地域で防災力の向上を ～

令和5年6月
発行

田んぼダム・ため池フォーラム開催！！

田んぼダム通信

パネルディスカッション

取組③ 田んぼダムの効果

○丸子川流域 (大仙市) において、令和5年7月豪雨モデルによる効果シミュレーションを実施。(R5取組)

○古川および猿田川 (秋田市) において複数パターンによる効果のシミュレーションを今年度実施。年度内に農業者や地元関係者向けの説明会を開催予定。



四ツ小屋南地区 (秋田市)

取組④ 取組面積



管内	市町村名	面積	
山本	能代市	322ha	
	秋田	秋田市	91ha
	由利	由利本荘市	21ha
仙北	大仙市	1,917ha	
	美郷町	321ha	
	仙北市	11ha	
	計	2,683ha	

※速報値であり、変更の可能性がある

■ハード対策 (避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備)

○簡易水位計等の基盤整備【継続実施】

⇒ 危機管理型水位計の運用

- ・ きめ細やかな水位把握が必要な河川へ設置し、洪水時における市町村の避難勧告等の発令や地域住民の適時的確な避難に役立つ水位情報提供の充実に図る。
- ・ データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<https://kasen.pref.akita.lg.jp/pc/>



【猿田川】秋田市牛島西 (開中道二号橋)

県管理河川振興局別
危機管理型水位計設置数

秋田県

振興局	河川数	設置基数
鹿角	15	21
北秋田	32	40
山本	13	14
秋田	27	37
由利	15	18
仙北	22	25
平鹿	8	8
雄勝	22	25
重複河川控除	-5	
計	149	188



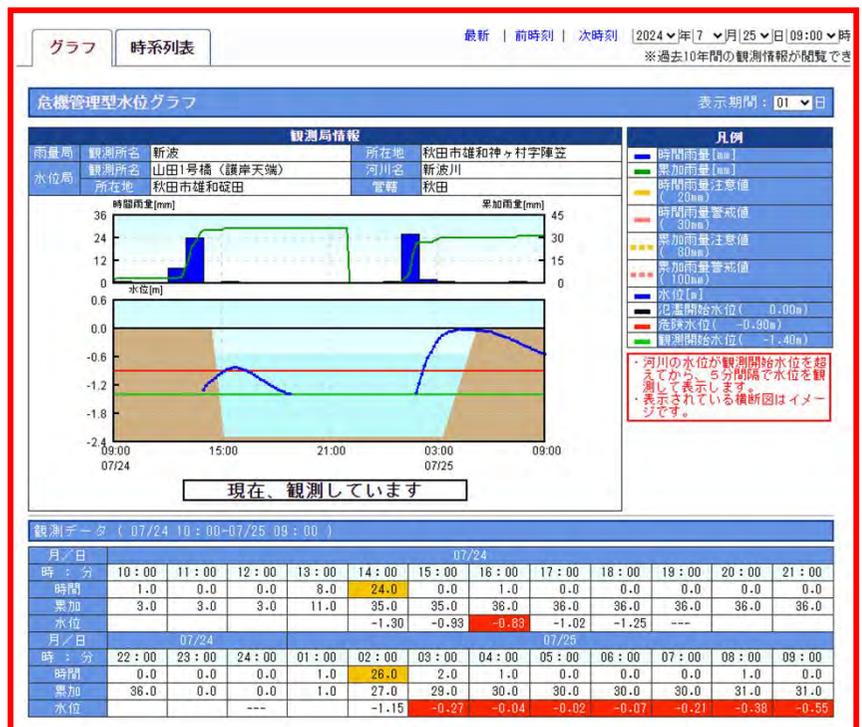
秋田県河川砂防情報システム

表示時刻設定: 最新 | 前時刻 | 次時刻 | 並べ替え: [登録順]

危機管理型水位一覧表(全県) 2025年01月14日08時55分 現在

2021年06月22日16時50分 現在

官轄	河川名	観測所名	所在地	最新観測時刻	警報値			現在水位 堤防高まで [m]	前回 水位 差分 [m]
					観測開始 水位 [m]	危険 水位 [m]	氾濫開始 水位 [m]		
鹿角	米代川	ダンブリ橋	鹿角市八幡平	2025 01/13 24:00	-2.30	-1.50	0.00	---	---
鹿角	米代川	新八幡平橋	鹿角市八幡平	2025 01/13 24:00	-3.20	-1.50	0.00	---	---
鹿角	米代川	松谷橋	鹿角市八幡平	2025 01/13 24:00	-2.10	-0.80	0.00	---	---
鹿角	米代川	用野目橋	鹿角市花輪	2025 01/13 24:00	-2.40	-0.80	0.00	---	---
鹿角	米代川	高屋橋	鹿角市花輪	2025 01/13 24:00	-3.40	-1.80	0.00	---	---
鹿角	米代川	錦木橋	鹿角市十和田末広	2025 01/13 24:00	-2.30	-0.60	0.00	---	---
鹿角	大湯川	大湯新橋	鹿角市十和田大湯	2025 01/13 24:00	-2.00	-1.20	0.00	---	---
鹿角	汁毛川	坂の下橋	鹿角市十和田山根	2025 01/13 24:00	-1.80	-0.80	0.00	---	---
鹿角	根市川	寺坂橋	鹿角市花輪	2025 01/13 24:00	-1.70	-0.80	0.00	---	---
鹿角	福士川	産土津2号橋	鹿角市花輪	2025 01/13 24:00	-1.80	-0.80	0.00	---	---
鹿角	福士川	六月田橋	鹿角市花輪	2025 01/13 24:00	-1.20	-0.60	0.00	---	---
鹿角	閉瀬川	上谷橋	鹿角市花輪	2025 01/13 24:00	-1.00	-0.80	0.00	---	---
鹿角	黒沢川	黒沢川橋	鹿角市花輪	2025 01/13 24:00	-1.20	-0.80	0.00	---	---
鹿角	夜明島川	長内橋	鹿角市八幡平	2024 12/05 18:10	-2.00	-1.60	0.00	---	---
鹿角	鶴浜川	船沢橋	鹿角市八幡平	2025 01/13 24:00	-2.10	-1.70	0.00	---	---
鹿角	夏井川	夏井川橋(河川護岸)	鹿角市八幡平	2025 01/13 24:00	-1.40	-1.10	0.00	---	---
鹿角	響内川	響内川橋	鹿角市八幡平	2025 01/13 24:00	-2.20	-1.60	0.00	---	---
鹿角	小坂川	中島橋	小坂町小坂鉱山	2025 01/13 24:00	-2.40	-1.50	0.00	---	---
鹿角	荒川	荒川橋	小坂町荒谷	2025 01/13 24:00	-1.80	-1.20	0.00	---	---
鹿角	砂子沢川	真木ノ平橋	小坂町小坂	2025 01/13 24:00	-1.50	-0.80	0.00	---	---
鹿角	古達部川	若木立橋	小坂町小坂	2025 01/13 24:00	-1.60	-0.80	0.00	---	---
北秋田	米代川	曲田橋	大館市道目木	2025 01/13 24:00	-3.85	-0.60	0.00	---	---
北秋田	小森川	小坪沢2号橋	大館市比内町小坪沢	2025 01/13 24:00	-0.87	-0.76	0.00	---	---



グラフ | 時系列表

最新 | 前時刻 | 次時刻 | 2024年7月25日09:00時
※過去10年間の観測情報が閲覧でき

危機管理型水位グラフ 表示期間: 01 日

観測局情報

雨量局	観測所名	新波	所在地	秋田市雄和神ヶ村字陣笠
水位局	観測所名	山田1号橋(護岸天端)	河川名	新波川
	所在地	秋田市雄和砦田	管轄	秋田

時間雨量(mm) 累加雨量(mm)

水位[m]

凡例

- 時間雨量 [mm]
- 累加雨量 [mm]
- 時間雨量注意値 (< 20mm)
- 時間雨量警戒値 (< 30mm)
- 累加雨量注意値 (< 80mm)
- 累加雨量警戒値 (< 100mm)
- 水位 [m]
- 氾濫開始水位 (-0.00m)
- 危険水位 (-0.80m)
- 観測開始水位 (-1.40m)

現在、観測しています

観測データ (07/24 10:00-07/25 09:00)

月/日	時:分	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00
07/24	時間	1.0	0.0	0.0	8.0	24.0	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
07/24	累加	3.0	3.0	3.0	11.0	35.0	35.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0	36.0
07/24	水位				-1.30	-0.93	-0.63	-1.02	-1.25	---	---	---	---

秋田県

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○簡易型カメラ等の基盤整備【継続実施】

⇒ 簡易型河川監視カメラの運用

- ・リアリティーのある河川の状況を画像で伝えることで、住民の適時的確な避難判断、避難行動を促す。
- ・カメラの画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<http://sabo.pref.akita.jp/kasensabo/index.html>



県管理河川振興局別
簡易型河川監視カメラ設置数

振興局	河川数	設置基数
鹿角	5	6
北秋田	9	9
山本	9	9
秋田	14	16
由利	6	8
仙北	10	14
平鹿	2	4
雄勝	2	3
重複河川控除	-5	
計	52	69

秋田県河川砂防情報システム

データ種別: 雨量 水位(通常) 水位(危機管理型) **カメラ** ダム

最新 クリック

雄勝地域振興局

役内川 横堀(湯沢市)	役内川 湯ノ岱(湯沢市)	雄物川 下院内(湯沢市)
日時: 06/22 16:50	日時: 06/20 24:00	日時: 02/20 09:40
水位: ↓ -0.32[m]	水位: --[m]	水位: --[m]
警報状態: 通常	警報状態: 観測開始水位未満	警報状態: 欠測

平鹿地域振興局

横手川 上の橋(横手市)	横手川 寺村(横手市)	横手川 鋸倉(横手市)	上湯川 町田(横手市)
日時: 06/22 16:40	日時: 06/22 16:50	日時: 06/22 16:50	日時: 06/22 16:50
水位: → 0.04[m]	水位: ↑ -1.02[m]	水位: → -0.19[m]	水位: ↑ 1.16[m]
警報状態: 通常	警報状態: 通常	警報状態: 通常	警報状態: 通常

■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

○庁舎や排水機場等の耐水性の確認・対策（耐水化・BCP等ソフト対策を含む）継続実施

- ・秋田湾・雄物川流域下水道（臨海処理区）耐水化計画に基づき、過去に浸水被害を受けた流域下水道幹線マンホールポンプ場のレジリエンス向上のため、動力制御盤などの高所移設完了



浸水状況（仁助中継ポンプ場）



浸水状況（平沢中継ポンプ場）

- ・秋田湾・雄物川流域下水道（大曲処理区）耐水化計画に基づき、終末処理場である大曲処理センターの冠水時においても、汚水処理機能を確保するための工事に着手。止水壁設置完了。今後設備類の耐水対策予定



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組 (継続実施)

- 想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
⇒ 平成27年の水防法の改正に伴い、これまでの洪水浸水想定区域を見直し、秋田県美の国ネットにてデータを公表。
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/10574>

令和6年度に大沢川(大仙市)を水位周知河川に指定し、洪水浸水想定図を公表
水位周知河川 全40河川について、洪水浸水想定区域図を公表済み
その他河川についても洪水浸水想定区域図の作成・公表を進めていく予定



※洪水予報河川である太平川も加えている。

【想定最大規模による】県管理河川の洪水浸水想定区域図について

2020年04月28日 | コンテンツ番号 10574

近年、全国的に豪雨による洪水被害が発生しており、短時間で河川が増水したり、堤防が決壊して甚大な被害が発生する事象も増えてきています。秋田県においては、平成29年7月、翌平成30年5月の豪雨による洪水被害が記憶に新しいところです。

このような洪水時における人的被害を防ぐため、県民の皆様には普段より水害リスクを認識し、洪水時の危険箇所や避難場所についての正確な情報を知っていただくことが何より重要であるため、洪水被害が予想される市町村では、洪水ハザードマップを作成し配布しております。

秋田県では、平成27年の水防法の改正に伴い、洪水ハザードマップの基礎となっていた洪水浸水想定区域の見直しを進めており、今回の見直しでは、想定し得る最大規模の降雨により当該河川が氾濫した場合に浸水が想定される区域を洪水浸水想定区域として指定し、公表することとしています。

ここでは、秋田県が指定した対象河川における洪水浸水想定区域図等を公表していますので、自らの避難行動に役立ててください。

想定最大規模降雨による洪水浸水想定区域等

河川名	図面名	指定・公表年月日	関係市町村
旭川	洪水浸水想定区域図(想定最大規模) [PDF/609K]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) [PDF/608K]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図(氾濫流) [PDF/6079K]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図(河岸浸食) [PDF/6078K]		
	洪水浸水想定区域図(計画規模) [PDF/5811K]		
太平川	洪水浸水想定区域図(想定最大規模) [PDF/6032K]	令和元年8月6日	秋田市
	洪水浸水想定区域図(浸水継続時間) [PDF/6066K]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図(氾濫流) [PDF/6090K]		
	家屋倒壊等氾濫想定区域図(河岸浸食) [PDF/6088K]		
	洪水浸水想定区域図(計画規模) [PDF/6087K]		

美の国あきたネット

河川砂防課

- 平成30年5月豪雨により大きな被害を受けた馬路川の緊急的な治水対策工事が完了しました。 [2020年04月20日]
- ダムカード配布の一時的なお知らせ [2020年03月02日]
- 平成29年7月豪雨により大きな被害を受けた沢川等の県管理河川において緊急的な治水対策を実施します [2017年12月01日]
- 河川砂防課の業務案内 [2016年02月10日]

河川砂防課からのお知らせ

- 簡易型河川監視カメラの運用を開始します [2020年04月24日]
- 平成30年5月豪雨により大きな被害を受けた馬路川の緊急的な治水対策工事が完了しました。 [2020年04月20日]
- 危機管理型水位計の運用を開始します [2019年03月29日]
- 平成29年7月豪雨により大きな被害を受けた沢川等の県管理河川において緊急的な治水対策を実施します [2017年12月01日]
- 水害・土砂災害への備えに関する要配慮者利用施設の管理者向け説明会を開催しました [2017年03月21日]

「河川」に関すること

- 【想定最大規模による】県管理河川の洪水浸水想定区域図について [2020年04月28日] **クリック**
- 秋田の当面の水害・土砂災害対策 [2016年03月09日]

「海岸」に関すること

- 秋田沿岸の津波浸水想定の設定について [2016年04月04日]
- 秋田県沿岸における設計津波の水位の設定について [2016年03月09日]
- 海岸協力団体の募集します [2014年09月24日]
- 海岸に漂着したポリ容器に注意願います。 [2012年02月23日]
- 私たちの海が広がっています！ [2010年03月09日]

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○迅速かつ確実な避難に関する取組【継続実施】（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンやタブレットでリアルタイムの河川画像にダイレクトにアクセス可能、メールやLINEで河川情報を配信

■マップのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ることでリアルタイムの河川画像などが見れます。

⇒ 県広報紙で全戸配布済

※美の国秋田ネットからも確認、ダウンロードできます。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48409>

※ダイレクトマップは
2021年3・4月号に掲載されています

■令和3年4月「秋田県河川砂防情報システムHP」をスマートフォン対応へ更新しました。

<https://kasen.pref.akita.lg.jp/sp/>



更新



■令和5年3月より河川水位や降雨量のメール配信サービス「あきた河川メール」を行っています。

■さらに令和6年5月より、「秋田県公式LINE」との連携も開始しました。（公式LINEについては次項を参照）

※登録は下記URLより
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/69992>

※パンフレットに記載しているQRコードからも登録できます。

あきた河川メール
パンフレット

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○迅速かつ確実な避難に関する取組【継続実施】（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンを活用した、視覚障がい者のための情報環境改善と防災・河川情報のリアルタイム配信

■「耳で聴くハザードマップ」(Uni-Voice Blindアプリ)

携帯電話のGPS機能を利用し、気象情報、標高、洪水リスク、避難場所までのナビゲートなどを音声読み上げアプリ(ユニボイス ブラインド)を活用して聴くことができます。

※秋田県防災ポータルサイトからも確認、ダウンロードできます。

https://www.bousai-akita.jp/pages/?article_id=646

現在地情報をタップ ハザードマップをタップ 音声で災害リスクを読み上げ



① トップ スキャン画面 ② 「現在地の情報」画面 ③ 「ハザードマップ」画面 ④ 「避難場所一覧」画面

■秋田県公式LINE（令和6年5月運用開始）

県政やイベント情報のほか、避難情報や河川の水位情報などの防災情報が、リアルタイムで配信されます。

※配信を希望する情報や地域は選択することができます。



その他、状況に応じて県公式のSNS (Facebook、X)による配信も行っています。

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

気象台・県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

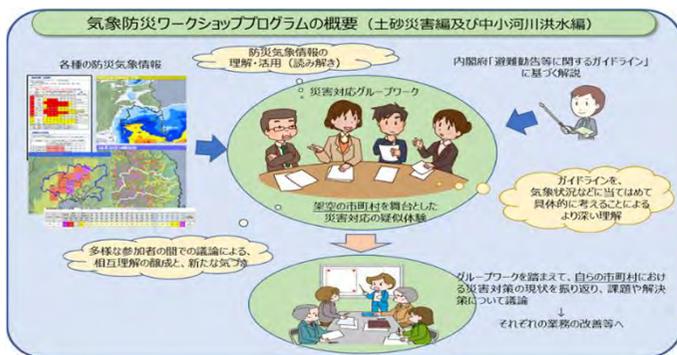
○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

○ 洪水災害や土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を活用し、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただくことで、各種の防災気象情報を理解し有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングを検討することで判断のポイントを学びます。

今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

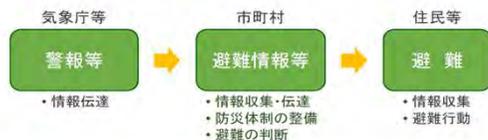
○ 地方公共団体等の防災対策協力・支援として引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

気象防災ワークショップ（土砂災害）



地域防災力を高めるために

市町村職員として、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで市の体制強化や避難の判断・伝達を実施することで、**住民の命を災害から守る**

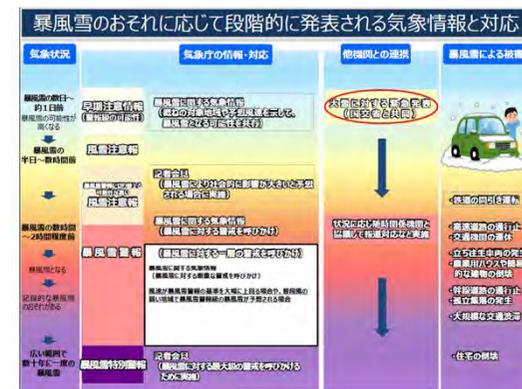


本ワークでの経験や気づきを今後の業務に活かしましょう！

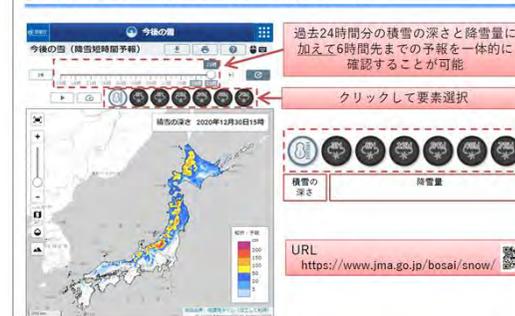


Web会議システムによるワークショップを開催

大雪・暴風雪のメカニズムと防災気象情報の利活用



気象庁ホームページ「今後の雪」



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）
○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、秋田県防災士会と連携し防災士を「防災アドバイザー」として派遣し、きめ細かなアドバイスを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

【防災アドバイザーの業務】

- 自主防災組織の運営・活動支援
- 避難誘導・救助訓練、要援護者への対応要領を通じたの災害対応力の向上
- D I G（災害図上訓練）、HUG（避難所運営ゲーム）を通じて防災知識の普及・啓発を図る
- ハザードマップの周知、「マイ・タイムライン」の普及啓発
- 地区防災計画の策定支援



防災士による講演状況



防災備蓄食料品の活用

○自主防災組織育成指導者研修会（県総合防災課・市町村）

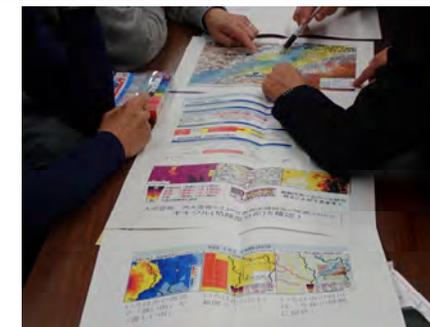
災害発生時の自主防災体制の確立を目的に、自主防災組織のリーダーや自治会長、市町村防災担当職員を対象とした防災教育を実施しています。



秋田大学地域防災減災総合研究センター水田教授による講演



秋田地方気象台によるワークショップ



■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

- ・重要水防箇所の合同巡視 ⇨ 重要水防箇所や水防資機材の共同確認

洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施。



淀川（大仙市）



横手川（横手市）



丸子川（大仙市）



成瀬川（東成瀬村）

■ ソフト対策【ねばる】

② 氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

- ・ 水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 水防資機材の共同確認

事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保。



水防倉庫：雄勝建設部



水防倉庫：平鹿建設部

■ソフト対策【戻す】 ③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

国・秋田県・市町村

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組【継続実施】

・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するための訓練を実施。



国交省・秋田県・大仙市合同訓練状況写真：R6丸子川・福部内川（大仙市大曲）

■ハード対策

- 洪水氾濫を未然に防ぐ対策
- 避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備

- 堤防等整備⇒秋田市（新波・左手子・種沢・戸賀沢・向野）地区【完了】
秋田市（戸草沢・川崎）地区【継続】、大仙市岩瀬湯野沢地区【完了】
- 堰改築 ⇒ 湯沢市山田地区【継続】
- 護岸等整備（災害復旧）
⇒ 秋田市（新波・新屋）地区【完了】
⇒ 大仙市（北檜岡・宇留井谷地・神宮寺・間倉・松倉）地区【完了】
- 河道掘削 ⇒ 秋田市左手子地区、秋田地区、大仙市大仙地区【継続】
- ダム建設の推進 ⇒ 成瀬ダム建設事業【継続】
・令和6年度本体工事進捗：堤体積の約99%
・本体CSG打設完了：令和6年11月20日
- 簡易水位計等の基盤整備 ⇒ 簡易型河川監視カメラ（全41基整備済）【継続】
- 河川防災ステーションの整備 ⇒ 秋田地区河川防災ステーション【継続】



岩瀬湯野沢地区堤防整備状況

山田地区堰改築進捗状況
(令和6年12月2日撮影)

戸草沢地区 堤防・排水樋門整備状況

成瀬ダム 本体工事進捗状況
(令和6年11月27日撮影)

■ソフト対策【動かす】

- ①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

- 平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組
 - ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
⇒ 秋田市・大仙市と秋田・湯沢河国がそれぞれ連携し「洪水対応演習」を実施【継続】
⇒ 討論型図上形式によるタイムライン検討会（課題等抽出等）を開催（大仙市）【継続】
⇒ ロールプレイング形式でタイムラインの改善を目指し危機管理演習を開催（大仙市）【継続】
 - ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
⇒ 流域市町村全校において、防災教育資料を展開（関係機関共同実施）【継続】
⇒ 自然災害伝承碑のほか、水害に係わる昔話や伝承も含めて防災教育資料を作成【継続】



R6危機管理演習実施状況（左：大仙市、右：湯沢河川国道事務所）

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

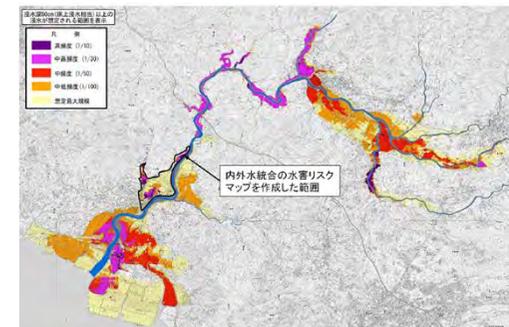
- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 過去出水及び危機管理演習結果等を踏まえタイムラインの検証・見直し（関係機関共同実施）【継続】
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
 - ⇒ **内外水一体型リスクマップの作成**【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
 - ⇒ 基準水位や危険箇所等の設定根拠を対象自治体に説明【継続】

・自然災害の伝承

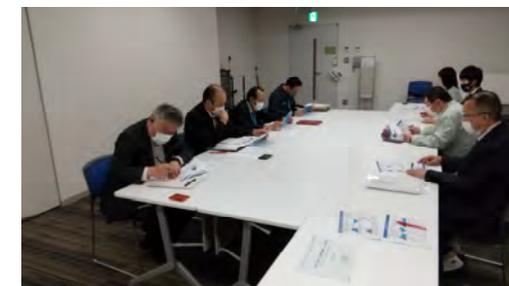
⇒自然災害を自分事として捉えていただくため「あきた災害の記憶伝承」リーフレット作成配布【新規】



あきた災害伝承リーフレット



内外水一体型リスクマップ(イメージ)



危険箇所等の設定根拠を自治体に説明

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視、関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ 関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
 - ⇒ 流域自治体の水防訓練での排水ポンプ車活用の紹介と合同訓練実施【継続】

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
 - ⇒ダム事前放流実施要領【継続】
 - ⇒玉川ダム・鎧畑ダム連携協定の締結（R3.6.8締結）

玉川ダムから鎧畑ダムの遠隔操作化に向けた機器整備【完了】

洪水時及び平常時におけるより効率的な情報提供や住民周知、治水・利水の一体的かつ総合的なダム運用検討【継続】



R6重要水防箇所合同巡視(横手市)



玉川ダム・鎧畑ダム
連携協定 締結式

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

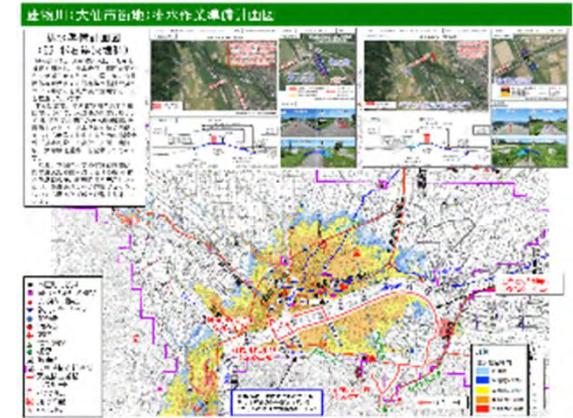
- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒排水ポンプ車操作訓練の実施【継続】

⇒**福部内川に秋田県で設置された排水のための堤防乗り越し管の稼働等確認のため、秋田県、大仙市の3機関合同による排水ポンプ車設置訓練を実施【継続】**

- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成

⇒長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成【関係市町へ情報提供済】（今後は必要に応じてリバイス）【継続】



緊急排水計画(案)のイメージ



国土交通省・秋田県・大仙市による排水ポンプ車設置訓練状況

■ハード対策

- 堤防等整備 ⇨ 秋田市川崎地区【継続】
- 護岸等整備（災害復旧） ⇨ 大仙市大曲西根地区
横手市大雄・雄物川地区【新規】
- 堰改築 ⇨ 湯沢市山田地区【継続】
- 河道掘削 ⇨ 秋田市秋田地区、大仙市大仙地区【継続】
- ダム建設の推進 ⇨ 成瀬ダム建設事業【継続】
- 簡易水位計等の基盤整備
⇨ 簡易型河川監視カメラ（全41基整備済）【継続】
- 河川防災ステーションの整備
⇨ 秋田地区河川防災ステーション【継続】



湯沢市山田地区に堰改築イメージ



秋田地区河川防災ステーション整備イメージ



成瀬ダム 完成イメージ

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

- 平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組
 - ・タイムラインを活用したロールプレイング等のリアリティのある防災訓練の実施
 - ⇨ 流域自治体と連携し「洪水対応演習」を開催予定【継続】
 - ⇨ 討論型図上形式によるタイムライン検討会（課題等抽出等）を開催予定（秋田市）【継続】
 - ⇨ ロールプレイング形式でタイムラインの改善を目指し危機管理演習を開催予定（秋田市）【継続】
 - ・水害リスクを共有するための教育機関等と連携した防災教育の実施
 - ⇨ 流域市町村全校において、防災教育資料を展開（関係機関共同実施）【継続】
 - ⇨ 自然災害伝承碑のほか、水害に係わる昔話や伝承も含めて防災教育資料の展開【継続】



自然災害伝承碑等の防災教育資料の展開

■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○発災時の迅速かつ確実な避難に関する取組

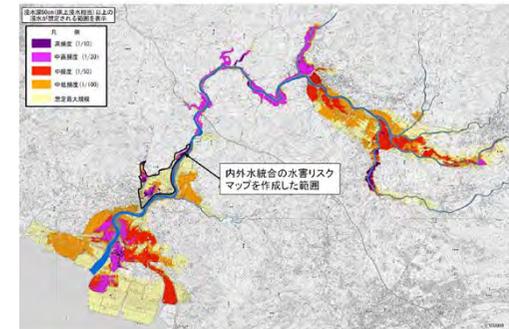
- ・住民の避難行動に着目した各市町のタイムラインの運用
 - ⇒ 過去出水及び危機管理演習結果等を踏まえタイムラインの検証・見直し（関係機関共同実施）【継続】
- ・想定最大規模降雨による浸水想定区域図、氾濫シミュレーション、家屋倒壊等氾濫想定区域の公表
 - ⇒ ハザードマップ作成に必要な電子データを提供支援【継続】
 - ⇒ 内外水一体型リスクマップの作成【継続】
- ・住民の主体的避難を促す情報伝達手段の拡充（防災メール、防災ラジオ、SNS等）
 - ⇒ プッシュ型メールによる住民への情報提供及び周知広報を実施【継続】
 - ⇒ 基準水位や危険箇所等の設定根拠を対象自治体に説明【継続】

・自然災害の伝承

⇒自然災害を自分事として捉えていただくため「あきた災害の記憶伝承」リーフレット作成配布【継続】



あきた災害伝承リーフレット



内外水一体型リスクマップ(イメージ)



危険箇所等の設定根拠を自治体に説明

■ソフト対策【ねばる】

②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

○より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組

- ・流域内の関係機関が防災情報を共有できる体制の整備
 - ⇒ 秋田県 情報集約配信システムによる情報共有【継続】
- ・重要水防箇所の合同巡視、関係機関が連携した水防訓練・水防団同士の連絡体制の再確認の実施
 - ⇒ 関係機関（水防団、各市町、秋田県、東北地方整備局）合同による重要水防箇所点検【継続】
 - ⇒ 流域自治体の水防訓練での排水ポンプ車活用の紹介と合同訓練実施【継続】

○既存ダムを最大限活用した防災体制の強化に関する取組

- ・既存ダムが柔軟な対応ができるように、予測も含めたより広域的な下流域の情報を共有できる体制を整備。
 - ⇒ダム事前放流実施要領【継続】
 - ⇒玉川ダム・鎧畑ダム連携協定の締結（R3.6.8締結）

洪水時及び平常時におけるより効率的な情報提供や住民周知、治水・利水の一体的かつ総合的なダム運用検討【継続】



R6重要水防箇所合同巡視(横手市)



玉川ダム・鎧畑ダム連携協定 締結式

■ソフト対策【戻す】

③日常生活および社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組

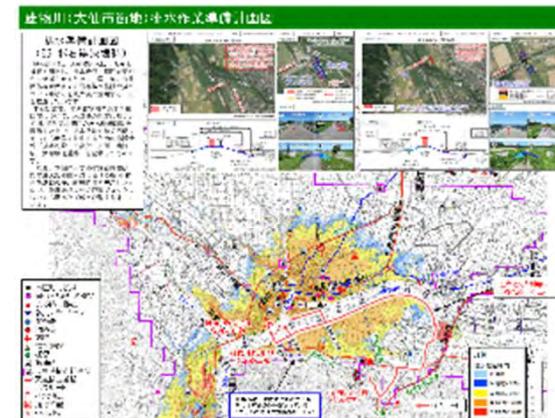
- ・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒排水ポンプ車操作訓練の実施【継続】

⇒福部内川に秋田県で設置された排水のための堤防乗り越し管の稼働等確認のため、秋田県、大仙市の3機関合同による排水ポンプ車設置訓練を実施【継続】

- ・排水施設等の情報共有、浸水区域内の自然勾配を踏まえた排水の検討を行い、大規模水害を想定した氾濫時の緊急排水計画（案）を作成

⇒長期にわたり浸水が継続する地域において、地域社会をいち早く復旧させるための排水計画（案）を作成【関係市町へ情報提供済】（今後は必要に応じてリバイス）【継続】



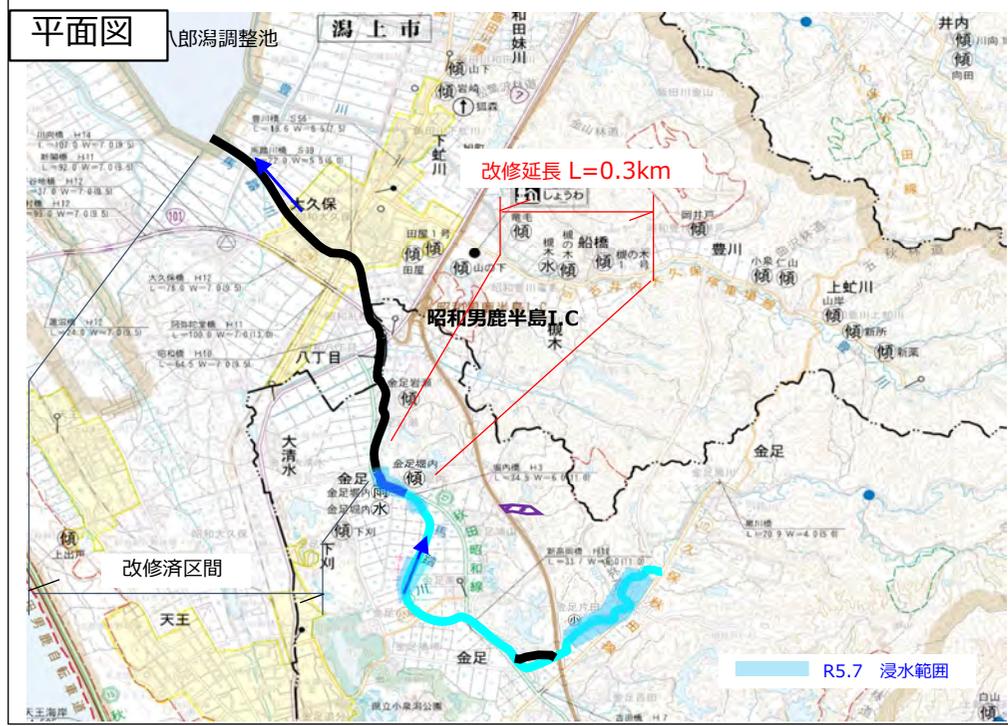
緊急排水計画(案)のイメージ



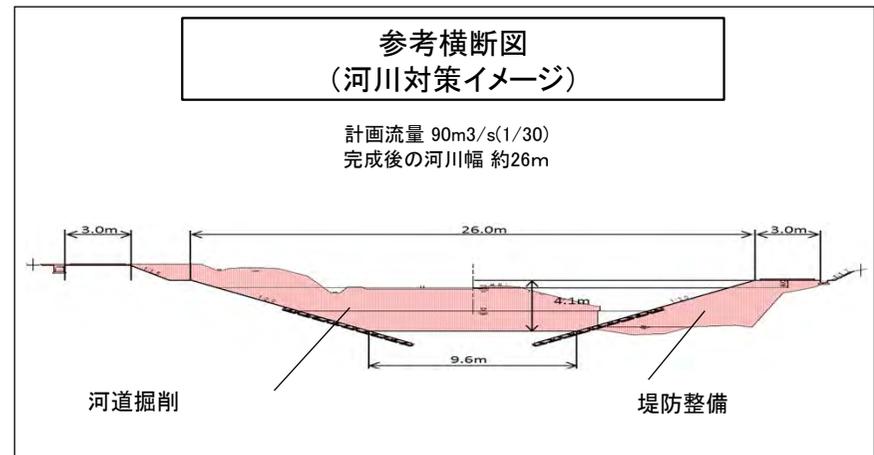
国土交通省・秋田県・大仙市による排水ポンプ車設置訓練状況

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策）

馬踏川中流部（秋田市金足堀内地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。



過去の被害状況



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策）

三種川中流部（山本中学校）から上流部（長面地区）では、河川が蛇行し狭隘で流下能力が低い区間があり、豪雨の際には床上浸水被害等が発生していることから、河道掘削や堤防整備を計画的に実施し、治水安全度の向上を図る。

位置図



平面図



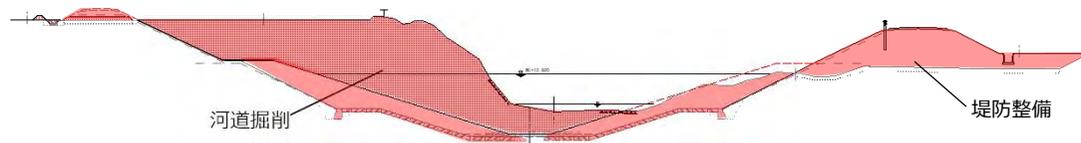
過去の被害状況



参考横断図（河川対策イメージ）

完成後の河川幅 約36m

計画流量 280m³/s(1/10)



※今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

■ハード対策（洪水氾濫を未然に防ぐためのハード対策） 河道掘削 馬場目川水系 県管理河川【継続実施】

河川の流下能力を短期間で向上させ、洪水を安全に流す取組として、河道掘削や伐木を実施する。

■ 馬場目川 磯ノ目地区 河道掘削、伐木



対策後



■ 馬場目川 上町地区 河道掘削、伐木



対策後



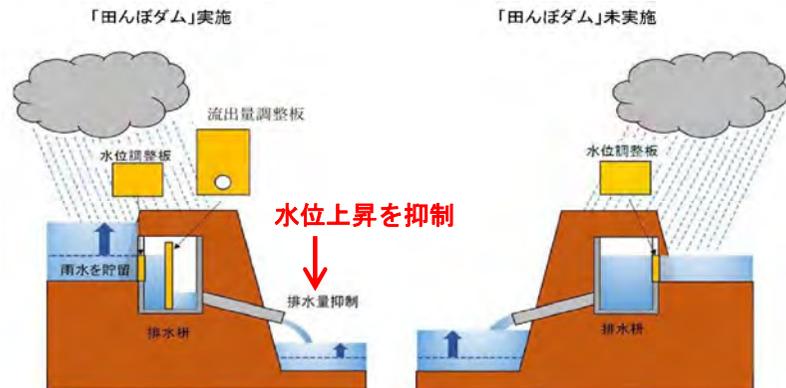
■ 田んぼダム の 推進 について（県 全域 での 取組 み） 【 継続 実施 】

【 田んぼ ダム の 取組 み に 向 け た 普 及 ・ 啓 発 活 動 】

田んぼダムに取組むには、関係農業者や便益を受ける地域住民が、その効果や恩恵を理解するとともに、市町村や農業団体が主体となって流域全体で合意形成を図ることが重要であり、それを促すための普及啓発を行っています。

○ 田んぼ ダム の 仕組 み と 効 果

水田が持つ雨水貯留効果を活用することにより、大雨の際に一時的に田んぼに水を貯め、ゆっくりと排水（流出）させることで河川等のピーク流量を抑制し、下流域の洪水被害を低減する効果を見込む。



田んぼダム の 一 例



機能分離型



機能一体型

○ 普 及 ・ 啓 発 活 動（ 県 内 での 実 施 例 ）



意見交換会



農業者向けの現地見学会



模型を使った説明



【左】県が発行している「田んぼダム通信」
【右】秋田県 田んぼダム技術マニュアル



■ハード対策（避難行動、水防活動、排水活動に資する基盤等の整備）

洪水時における避難情報の発令や地域住民の的確な避難を促すよう、従来型水位計に加え、危機管理型水位計及び河川監視カメラを設置し、リアルタイムの水位、河川状況画像、雨量情報をインターネットに公表、情報提供を図る。【継続実施】

- データ画像は、秋田県河川砂防情報システムにて公表。

<https://kasen.pref.akita.lg.jp>

県管理河川振興局別
危機管理型水位計設置数

振興局	河川数	設置基数
鹿角	15	21
北秋田	32	40
山本	13	14
秋田	27	37
由利	15	18
仙北	22	25
平鹿	8	8
雄勝	22	25
重複河川控除	-5	
計	149	188

県管理河川振興局別
簡易型河川監視カメラ設置数

振興局	河川数	設置基数
鹿角	5	6
北秋田	9	9
山本	9	9
秋田	14	16
由利	6	8
仙北	10	14
平鹿	2	4
雄勝	2	3
重複河川控除	-5	
計	52	69

河川監視カメラ設置状況
（馬場目川 五城目町馬場目中屋敷地区 中屋敷橋）



馬場目川 中屋敷橋（五城目町）



日時	07/29 24 : 00
水位	---[m]
警報状態	観測開始水位未滿

秋田県河川砂防情報システムによるリアルタイム情報の提供

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○迅速かつ確実な避難に関する取組【継続実施】（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンを活用した、視覚障がい者のための情報環境改善と防災・河川情報のリアルタイム配信

■「耳で聴くハザードマップ」(Uni-Voice Blindアプリ)

携帯電話のGPS機能を利用し、気象情報、標高、洪水リスク、避難場所までのナビゲートなどを音声読み上げアプリ(ユニボイス ブラインド)を活用して聴くことができます。

※秋田県防災ポータルサイトからも確認、ダウンロードできます。

https://www.bousai-akita.jp/pages/?article_id=646

現在地情報をタップ ハザードマップをタップ 音声で災害リスクを読み上げ



① トップ スキャン画面

② 「現在地の情報」画面

③ 「ハザードマップ」画面

④ 「避難場所一覧」画面

■秋田県公式LINE（令和6年5月運用開始）

県政やイベント情報のほか、避難情報や河川の水位情報などの防災情報が、リアルタイムで配信されます。

※配信を希望する情報や地域は選択することができます。



その他、状況に応じて県公式のSNS (Facebook、X)による配信も行っています。

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

○迅速かつ確実な避難に関する取組【継続実施】（ICT等を活用した洪水情報の提供）

⇒ スマートフォンやタブレットでリアルタイムの河川画像にダイレクトにアクセス可能、メールやLINEで河川情報を配信

■マップのQRコードをスマートフォンやタブレットで読み取ることでリアルタイムの河川画像などが見れます。

⇒ 県広報紙で全戸配布済

※美の国秋田ネットからも確認、ダウンロードできます。

<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/48409>

※ダイレクトマップは

2021年3・4月号に掲載されています

■令和3年4月「秋田県河川砂防情報システムHP」をスマートフォン対応へ更新しました。

<https://kasen.pref.akita.lg.jp/sp/>



スマートフォン未対応のサイトを閲覧すると…

- × 小さくて見づらい。
- × パナーボタンやリンクが小さく指で押し操作しづらい
- × 表示に時間がかかる。

小さくて閲覧しにくい。



更新



操作しやすい



文字が読みやすい

■令和5年3月より河川水位や降雨量のメール配信サービス「あきた河川メール」を行っています。

■さらに令和6年5月より、「秋田県公式LINE」との連携も開始しました。

※登録は下記URLより

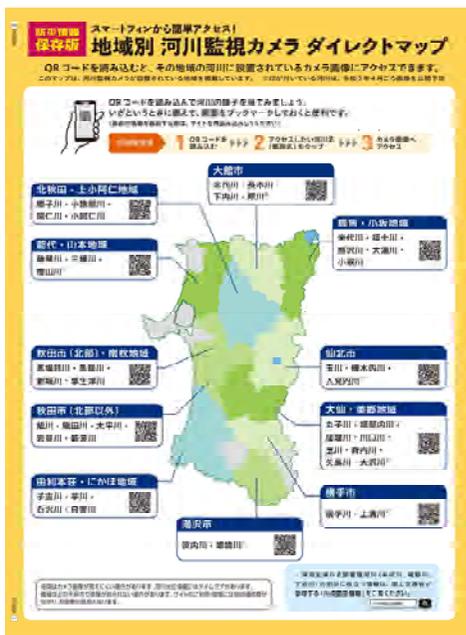
<https://www.pref.akita.lg.jp/pages/archive/69992>

※パンフレットに記載しているQRコードからも登録できます。

あきた河川メールパンフレット

地域別 河川監視カメラ ダイレクトマップ

QRコードを読み込んで河川のリアルタイム映像を見よう。いざというときに備え、画像もダウンロードできます。



水害と土砂災害のリスク

水害

土砂災害

あきた河川メール

あきた河川メール



あきた河川メール

あきた河川メール

あきた河川メール



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

■要配慮者利用施設の管理者への説明会の実施【継続実施】

・要配慮者利用施設における避難計画の作成及び避難訓練の実施

⇒ 講習会プロジェクトの取組 ※市町村地域防災計画にその名称及び所在地が定められた施設が対象

洪水・土砂災害からの「逃げ遅れゼロ」を目指し、平成30年から講習会プロジェクトを継続して実施

■各市町村の取り組み事例



■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

気象台・県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

○秋田地方気象台と連携した気象防災ワークショップの開催（県総合防災課）

○ 洪水災害や土砂災害が発生するおそれのある状況下で、気象台が発表する様々な情報を活用し、地方公共団体での防災対応を疑似体験していただくことで、各種の防災気象情報を理解し有効活用するとともに、体制の強化や避難指示発令のタイミングを検討することで判断のポイントを学びます。

今後も県内市町村の防災担当者に広く参加していただき、防災対応力の向上を目指します。

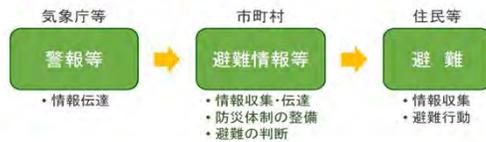
○ 地方公共団体等の防災対策協力・支援として引き続き気象防災ワークショップ実施し、現場担当者の防災対応力の向上を目指します。

気象防災ワークショップ（土砂災害）



地域防災力を高めるために

市町村職員として、気象庁などから提供される気象情報等を適切に使い、的確なタイミングで市の体制強化や避難の判断・伝達を実施することで、**住民の命を災害から守る**

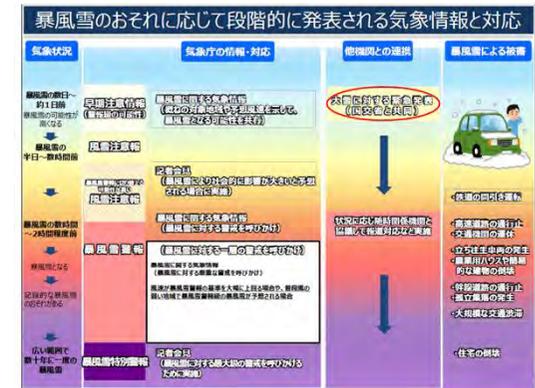


本ワークでの経験や気づきを今後の業務に活かしましょう！

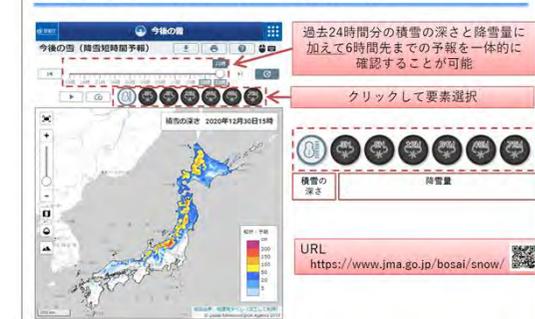


Web会議システムによるワークショップを開催

大雪・暴風雪のメカニズムと防災気象情報の利活用



気象庁ホームページ「今後の雪」



■ソフト対策【動かす】

①逃げ遅れゼロに向けた
迅速な情報発信と避難の誘導

県・市町村

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組（継続実施）

○秋田県防災アドバイザー派遣事業による防災力・知識の向上（県総合防災課）

地域全体の防災意識向上や地域の実情に応じた自主防災組織の結成促進、活動活性化を支援することを目的に、秋田県防災士会と連携し防災士を「防災アドバイザー」として派遣し、きめ細かなアドバイスを行うことで、地域防災力の向上を図っています。

【防災アドバイザーの業務】

- 自主防災組織の運営・活動支援
- 避難誘導・救助訓練、要援護者への対応要領を通じたの災害対応力の向上
- D I G（災害図上訓練）、H U G（避難所運営ゲーム）を通じて防災知識の普及・啓発を図る
- ハザードマップの周知、「マイ・タイムライン」の普及啓発等
- 地区防災計画の策定支援



防災士による講演状況



防災備蓄食料品の活用

○自主防災組織育成指導者研修会（県総合防災課・市町村）

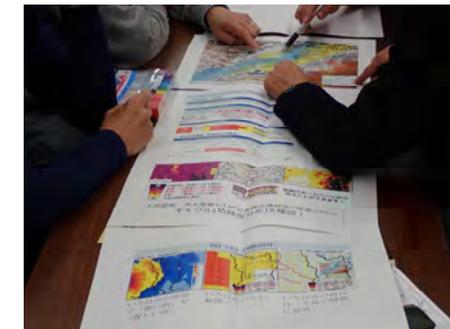
災害発生時の自主防災体制の確立を目的に、自主防災組織のリーダーや自治会長、市町村防災担当職員を対象とした防災教育を実施しています。



秋田大学地域防災減災総合研究センター水田教授による講演



秋田地方気象台によるワークショップ



市町村

■ソフト対策【動かす】 ①逃げ遅れゼロに向けた迅速な情報発信と避難の誘導

■平時からのリスク情報の周知と防災教育・訓練等に関する取組【継続実施】

- ・水害リスクの高い区間における地域住民が参加する共同点検や避難訓練の実施

⇒実践的な防災訓練を実施し、災害に対する避難体制の強化と防災意識の向上を図る。

■各市町村の取組事例



秋田市 総合防災訓練状況



潟上市 総合防災訓練



三種町 総合防災訓練状況



五城目町 総合防災訓練状況



井川町 総合防災訓練状況



男鹿市総合防災訓練（五里合地区）

■ソフト対策【ねばる】 ②氾濫被害の防止や軽減、避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

■より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

- ・重要水防箇所の合同巡視 ⇨ 重要水防箇所の共同確認等（河川の点検に加え、内水対策が必要な箇所の対応など）
洪水時に危険が予想され、重点的な巡視点検が必要な箇所を関係機関と実施。



三種川（三種町）
重要水防箇所点検状況



長面地区（三種町）
内水対策検討



■ ソフト対策【ねばる】

② 氾濫被害の防止や軽減、
避難時間の確保のための情報共有と水防活動の強化

秋田県・市町村

■ より効果的な水防活動の実施及び水防体制の強化に関する取組【継続実施】

- ・ 水防資機材の保有状況の確認 ⇨ 水防資機材の共同確認

事前に水防資機材の点検・準備を整え、直ちに水防活動を実施できる体制を確保。



水防倉庫：秋田建設部



水防倉庫：山本建設部

■ソフト対策【戻す】

③日常生活及び社会経済活動の一刻も早い回復を可能とする排水活動

○排水活動及び訓練、施設運用に関する取組【継続実施】

・関係機関と連携したリアリティのある水防・排水訓練の実施

⇒ 梅雨前線による集中豪雨や秋の台風シーズンを控え、排水ポンプ車の操作や機材の設置に習熟するための訓練を実施。



県北配備【排水ポンプ車】

